

EDGE-NEXT シンポジウム 2021 in 東海 後記

EDGE-NEXT シンポジウム 2021 in 東海が6月25日(金) 12:00-18:00 実施され、132 名の方がオンラインで参加されました。「アントレプレナーシップはウィズコロナ時代のニューノーマルとなりうるか？」をテーマに、バブソン大学 アントレプレナーシップ 准教授、山川 恭弘 氏と Google Brain Senior Research Scientist、Shixiang Gu 氏による基調講演、海外部者修行報告会、アントレプレナーシップ教育を受講した起業家によるパネルディスカッションが行われました。

—基調講演—

山川氏からの主なメッセージは、「Action trumps everything・行動はすべてに勝る」ことで、バブソン大学が起業家教育で、28 年間世界ランキングでトップであり続けている理由もそこにあり、当事者意識を持ち、好奇心を持ち続け、前向きに、幸せであるために、失敗を恐れることなくとにかくやってみて、学び、つみあげ、繰り返すことが大切であるということでした。



Gu 氏からは、AI の科学者として、日本、中国、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツの6 か国での経験をもとに各国の特徴をあげられ、世界を渡ってきた視点で見た日本の強みは、基礎・応用研究が強い、真面目、職人文化、道を究める精神があること、弱みは、研究との産学連携が遅れていること、言語、視野が狭い、積極性がないことを挙げられ、日本ができることとして、留学生の支援や、外国人の受け入れの拡大、英語の普及、年代を超えた交流・協力を充実させることなどを挙げられました。



—海外武者修行プログラム報告会—

【東北大学プログラム】

登壇者（登壇順、敬称略）：

長坂徹也 東北大学 副学長（社会連携・研究評価担当）

Rhonda Shrader, UC Berkeley, Haas School of Business, MBA 96, Executive Director Entrepreneurship, Executive Director - NSF I-Corps Bay Area Node

樋口 彰 (株)CogSmart 東北大学加齢医学研究所 分野研究員



室山真徳 (株) REISense CTO

青山 敦 東北大学工学部化学バイオ工学科 2年

Shraderさんからプログラム「Tohoku Startup CEO Training」内容について説明いただき、その後受講者の発表に続きました。本プログラムで学んだこととして、樋口さんは「仮説を立ててテストをする大切さ」、室山さんは「インタビューの有効性」、青山さんは「外部からの意見と取り入れること」を挙げられました。

【早稲田大学プログラム】

登壇者（登壇順、敬称略）：

朝日 透 早稲田大学 理工学術院教授

呉 夢瑤 早稲田大学 先進理工学部 4年

安達 慶太 早稲田大学 国際教養学部 3年

陽 品駒 早稲田大学 基幹理工研究科 博士後期課程 2年

Nurul Burhan 早稲田大学 創造理工学研究科 博士後期課程 3年

新保 正悟 株式会社 Vleep CEO

朝日先生から、イスラエルプログラム「No Venture, No Victory Program」の内容と、参加者9名について説明いただき、その後受講者の発表に続きました。本プログラムで学んだこととして、呉さんは「プレゼンテーションスキル」、安達さんは「失敗してこそ一人前のマインドセット」、陽さんは「資金調達」、ヌルルさんは「ビジネスモデルパターン」、新保さんは「機械的にイノベーションを起こす考え方」を挙げられました。

【名古屋大学プログラム】

登壇者（登壇順、敬称略）：

小西 由樹子 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 Tongali プロジェクト担当

Shivam Hinduja 名古屋工業大学 工学部 3年

中山 裕貴 中京大学 工学研究科 情報工学専攻 修士 2年

園田 英登 名古屋大学 法学部 3年

榊原 由奈 名古屋大学 法学部 3年

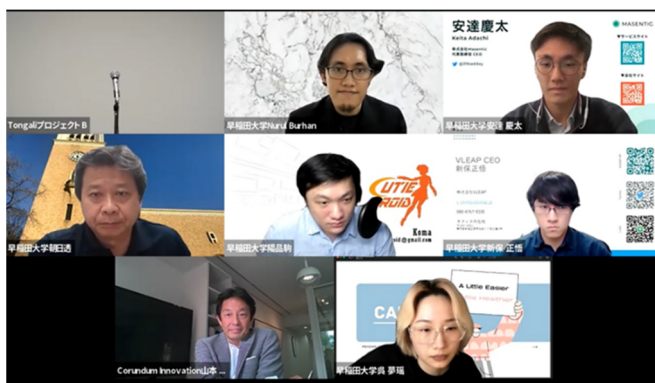
水野 聖己 名古屋大学 法学部 4年

まず、プログラム「Tongali 世界丸ごとアントレ研修」の内容と参加者30名の属性を説明した後、従者の発表に続きました。本プログラムで学んだこととして、シバンさんは「新しい人と知り合い、ネットワークが築けたこと」、中山さんは「英語ができないことへの危機感」、園田さん・榊原さん・水野さんチームは「ゼロからスタートアップを作る経験ができたこと」を挙げられました。

ーパネルディスカッションー

【各コンソーシアムの受講生起業家（登壇順、敬称略）】

梶山 愛 クレインバスキュラー株式会社 代表取締役



西ヶ谷 有輝 株式会社アグロデザイン・スタジオ 代表取締役社長

高橋 駿斗 EnoGG 株式会社 代表取締役

遠山 寛治 株式会社 Sonoligo 代表取締役

竹内 啓人 株式会社 Actra 代表取締役

【モデレータ（登壇順、敬称略）】

岡橋 寛明 みやこキャピタル株式会社 代表取締役

野原 かほり 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

各登壇者の経歴・起業ストーリーの後、ディスカッション全体を通し「起業に必要なリアル」「アントレプレナーシップに必要な教育」の切り口から、活発な議論が行われました。起業家視点から、起業における競争の熾烈さや戦略検討に関する大学に対する切実な声が挙がる一方で、教育現場への期待として、受講生の思い・精神の醸成を図るリベラルアーツや内省期間の重要性、受講生の自主性を高める教育プログラムや単位化の必要性などが語られ、多岐に渡る視点による気づきを得られる場となりました。

